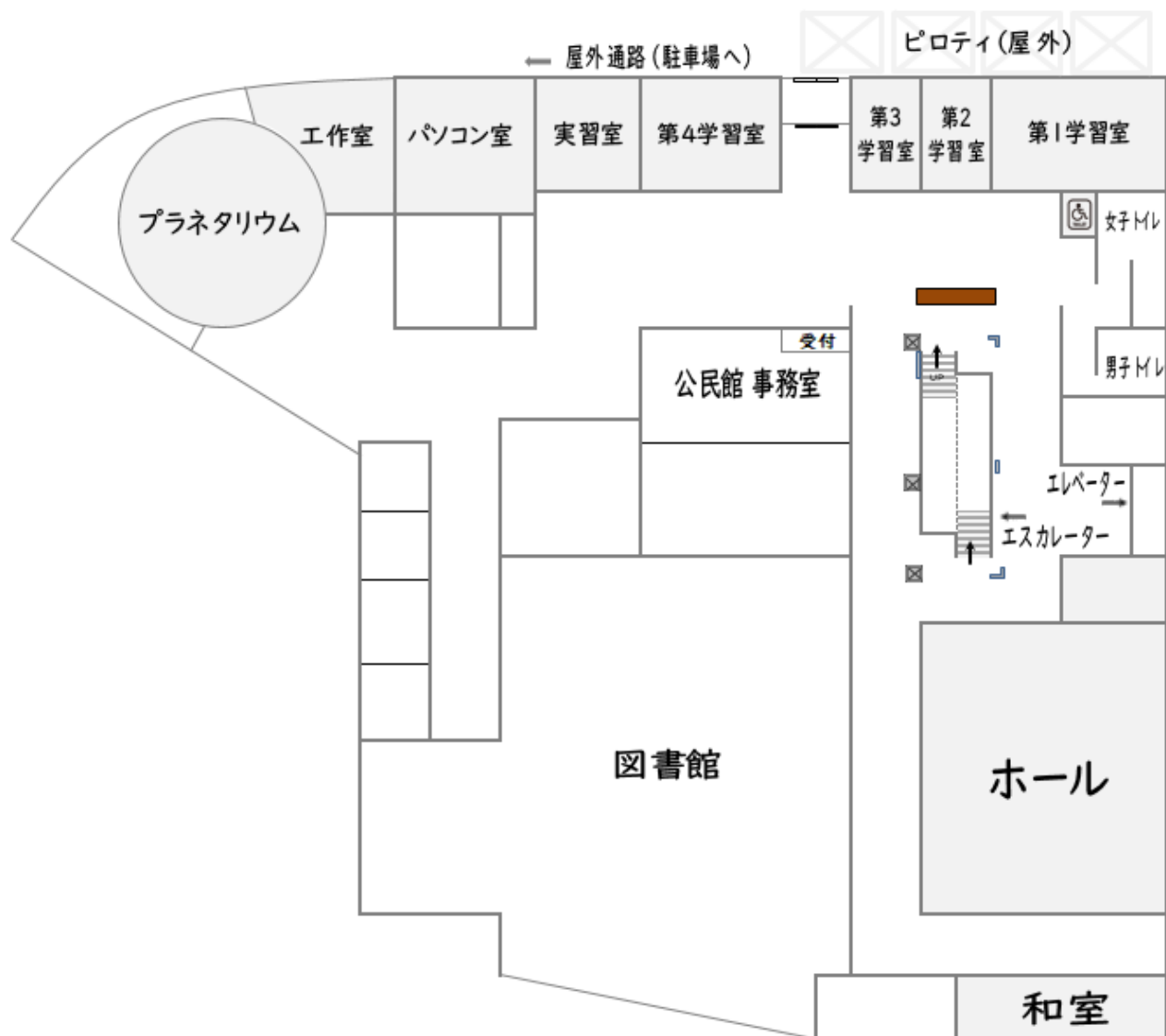


牧志駅前ほしぞら公民館



利用施設のご案内

牧志駅前ほしぞら公民館 平面図 (さいおんスクエア3階)



部 屋 名	収容人数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	120人程度	研修会、講演会、発表会、音楽会等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
第1学習室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第2学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第3学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第4学習室	30人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
実 習 室	20人程度	料理実習、会議等 (IH調理台 (4台)、料理用器具等)
パソコン室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
工 作 室	15人程度	工作実習、会議等 (イス、テーブル)
和 室	15人程度	お茶、生け花、着付けの学習会等 (テーブル)
プラネタリウム	84人	プラネタリウム投影 (デジタル式、光学式)

I 牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

久茂地公民館の沿革（牧志駅前ほしぞら公民館の前身）

久茂地公民館の建物は元々、昭和41年、「沖縄子どもを守る会」が青少年健全育成の場として建設した「沖縄少年会館」であり、当時は、その規模・施設等、最も進んだ教育施設として、沖縄の青少年健全育成に果たした役割は多大なものがあつた。しかし、その後、館の運営を維持することが財政的に困難となったため、昭和54年4月1日付けで那覇市に譲渡され、久茂地公民館として生まれ変わった。

昭和54年 4月 4日	公民館の施設提供が開始された。
5月 8日	プラネタリウム事業が開始された。
昭和60年 4月23日	久茂地公民館利用団体連絡協議会発足（70団体）
平成 2年 4月19日	久茂地公民館10周年記念誌が発刊された。
12月 7日	第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰される。
平成 9年10月30日	第50回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成23年 4月30日	施設の老朽化のため休館した。なお、休館に際し、4月29日・30日にプラネタリウムの最終投影会を開催した。
平成23年 7月 8日	久茂地公民館が廃止された。

牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

牧志駅前ほしぞら公民館は、平成23年7月8日、久茂地公民館の機能を移転する形で開館した。同館は牧志・安里地区市街地再開発地域（愛称「さいおんスクエア」）における12階建て複合施設の3階に、プラネタリウムのある公民館として、牧志駅前ほしぞら図書館とともに設置された（1・2階は商業・宿泊施設、4～12階は宿泊施設）。この複合施設の建築工事は、平成21年11月9日に着工し、平成23年3月18日に竣工した。

平成23年 7月 8日	久茂地公民館が廃止され、同館の機能を移転する形で、牧志駅前ほしぞら公民館が開館し、館長 田端研二が発令された。なお、同日から7月10日までの3日間、さいおんスクエアのまちびらきまつり開催に合わせて、公民館のオープニングイベントを開催し、多くの市民で賑わった。
平成23年11月28日	牧志駅前ほしぞら公民館利用団体連絡協議会の設立総会が開催された。
平成24年 3月	旧沖縄少年会館 旧那覇市久茂地公民館 旧那覇市立久茂地図書館記念誌が発刊された。
平成27年 3月4日	第67回文部科学大臣優良公民館の表彰を受ける。
平成28年 4月1日	館長 田端研二配置替えにより、館長 比嘉徳広が発令された。
平成30年 4月1日	館長 比嘉徳広配置替えにより、館長 田端研二が発令された。
令和 2年 4月1日	館長 田端研二退職に伴い、館長 末吉雪乃が発令された。

Ⅱ 令和2年度牧志駅前ほしぞら公民館事業目次

1	学習風景（写真）	119
2	成人一般対象事業	
	〔1〕市民講座	
	◇美容師さんから学ぶヘアカット～子ども編～	120
3	家庭教育事業	
	〔1〕家庭教育学級	
	◇宇宙の学校	121
	〔2〕乳幼児学級	
	◇パート1 簡単取り分け離乳食（クリスマスメニュー編）	122
	◇パート2 子どもの心に基地をつくる親子のコミュニケーション講座	123
4	その他の事業	
	〔1〕プラネタリウム事業	124
	〔2〕プラネタリウムにおける新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み	125
	◇部分日食Live配信観望会	126
	◇ほしぞら動画配信 たなばたの話	127
	◇ほしぞら動画配信 うちな一ぬ星	128
	◇ほしぞら動画配信 十五夜～中秋の名月～	129
	◇オンライン星空教室	130
5	公民館まつりについて	131
6	新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止になった事業	132

1 学習風景



市民講座

美容師さんから学ぶヘアークット～子ども編～



青年講座

※中央公民館との合同講座

プロから学ぶeスポーツって何だろう



家庭教育学級

宇宙の学校



乳幼児学級

簡単取り分け離乳食「クリスマスメニュー編」



乳幼児学級

心に基地をつくる親子のコミュニケーション講座



プラネタリウム事業

部分日食ライブ配信観望会

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

美容師さんから学ぶヘアカット～子ども編～

趣 旨：コロナ禍で外出を控えたい状況の中、自宅にしながら美容師さんから基本的な子どものカットの仕方をオンライン講座で知ってもらおう。

配信期間：令和3年2月10日（水）～令和3年2月19日（金）

再生時間：20分34秒

場 所：Y o u T u b e 限定配信 牧志駅前ほしぞら公民館チャンネル

対 象：那覇市在住・在勤で概ね18歳以上

受 講 料：無料

申込人数：33人

視聴回数：63回（令和3年3月31日時点）

講 師：上原 真貴（一般社団法人 KARIOYA）



★★ 学習プログラム ★★

- ① 挨拶・道具の説明
- ② 分け方（ブロッキング）の説明
- ③ カットの仕方（後ろの切り方、横の切り方、前髪の切り方、毛量調整）
- ④ ポイント（毛量調整を行う場合のすきバサミの使い方、レザーの使い方）



カットに使う道具



ブロッキング



仕上がり

【参加者の声】

- ・手元が見やすく、一つ一つ丁寧に撮られていてとても良かったです。
- ・今まで我流で子どもの髪を切っていたので、基礎的なことが分かり満足です。
- ・何度も見返すことが出来るので良かったです。動画が期間限定なのが残念です。子供の髪がカットするにはまだ短いため見ながら切りたかったです。
- ・動画の講座は自分の好きな時間にでき、為になったので他の講座も機会があれば受講したいです。今回はたまたまこういうものがあることを知ったので、公民館の情報をもっと知りたいと思いました。

【まとめ】

カットの基本を知ることによっていろいろアレンジもでき、外出が困難な時でも役に立てるのではと思い企画した講座。使用する道具は100均で揃えられるものを使用し、家庭でも気軽に試せる工夫をした。引き続き年代に応じたヘアカット講座を続けていきたいと思います。

3 家庭教育事業

〔1〕 家庭教育学級

「宇宙の学校」

趣 旨：JAXA 宇宙教育センターのテキストを使い、宇宙や自然科学をテーマにした実験・工作・課題学習を行う。「なぜ？」を課題にして親子で観察、実験をすることで家庭の中に学びを通した絆をつくる。

期 日：令和2年12月13日・1月17日（全2回）

時 間：10:00～12:00

場 所：自宅等からZoomで参加

対 象：那覇市内小学校1年生～3年生とその保護者

受 講 料：無料（但し、材料費1,000円は自己負担）

定 員：親子10組

申込人数：9組18人

参加延べ人数：15組30人

共 催：JAXA 宇宙教育センター・NPO 法人子ども・宇宙・未来の会

講 師：稲葉 茂（NPO 法人子ども・宇宙・未来の会副会長）
田端 研二（前牧志駅前ほしぞら公民館長）



【学習プログラム】

日 程	学 習 内 容	参 加 人 数
12月13日	望遠鏡を作って観察しよう 身近にあるレンズで作った望遠鏡で月などを観察し望遠鏡の仕組みを知る	9組18人
1月17日	ホバークラフトを作ろう モーターやプロペラの働き、空気や風の力などを実感させるとともにエネルギー源としての電池の働きに気付かせる	6組12人

【参加者の声】

児 童

- ☆ 紙で望遠鏡が作れると思わなかったのが、すごいと思った。
- ☆ 星とかいろんなものを見るのに使えそうなものが作れて、とても嬉しかったです。
- ☆ モーターで空気を入れて前に進める車が作れて、考えた人はすごいとおもいました。
- ☆ 出来上がったホバークラフトが動いて嬉しかった。

保護者

- ☆ コロナ禍で子どもの活動が狭まる中、オンラインという開催方法を取っていただけたことで、安心して参加することが出来ました。
- ☆ Zoom での開催で不安もありましたが、事前に材料確認などきめ細やかなフォローのおかげで安心して受講することが出来ました。
- ☆ 材料や作り方など、個人で準備するのは大変ですが、このような講座だと気軽に参加することができ助かりました。

【まとめ】

オンラインでの工作は難しいと思っていましたが、親子で相談しながら作り上げていく様子は、まさに「家庭の中の学びを通した親子の絆」なのだと感じました。開催してよかったと思います。

〔２〕 乳幼児学級

パート１ 簡単取り分け離乳食（クリスマスメニュー）

趣 旨：忙しいママの為に、大人用メニューから簡単に取り分けて離乳食を作るやり方を紹介し、時間に追われない、肩の力を抜いた子育てのヒントにしよう。

配信期間：令和２年１２月１８日（金）～２４日（木）

再生時間：１５分０６秒

場 所：ＹｏｕＴｕｂｅ 限定配信・牧志駅前ほしぞら公民館チャンネル

対 象：那覇市在住・在勤・在学の１歳までの子を持つ親

受 講 料：無料

申込人数：１２人

視聴回数：４９回（令和３年３月３１日時点）

講 師：土屋 恭子（那覇市社会教育指導員 ＯＢ 会・食育アドバイザー）



★★ 学習プログラム ★★

学 習 内 容
大人用のメニュー（ポトフ、サーモンのホイル焼き、ポンデライス、ほうれん草と人参の白和え、豆腐とバナナのパンナコッタ風、温野菜入りサラダ）計６品を作り、そこから離乳食用に取り分ける方法を学ぶ。 事前に受講生にはレシピを送信し、乳幼児用は調味料を使わず、素材のうまみを生かす工夫を紹介。

【参加者の声】

オンラインでのアンケートを実施したが、感想の記載はなかった。しかしながら満足度は 100%でした。

【ま と め】

例年の乳幼児学級では、顔を合わせてお母さんたちと一緒に料理をしながら、質問を受け、時には料理以外の子育ての事もお話し出来ましたが、コロナ禍で対面講座が出来なくなりました。動画配信では伝えるのみで、もどかしく感じました。初めての動画作成は、段取りもスムーズではなく、撮り直しもありました。

また、お母さんたちに伝えたいこともたくさんあり、品数も６品と多くなってしまいましたが、動画配信のメリットを活かし集中できる１５分に編集しました。動画配信の為の技術の習得や、オンラインアンケートの回答の回収等、課題は多くありますが、公民館講座の可能性が広がると思います。



パート2 子どもの心に基地をつくる親子のコミュニケーション講座

趣 旨：これからの時代に必要な子育ての視点と子どもの自己肯定感をより高めるコミュニケーションのコツを学ぶ。

期 日：令和3年1月27日（水）

時 間：10:00～11:30

場 所：自宅等からZoomで参加

対 象：那覇市在住・在勤・在学で乳幼児（0～6歳位）を持つお母さん

受 講 料：無料

定 員：10人

申込人数：12人（うち受講決定数12人）

参加延べ人数：10人

講 師：金城 実佳（マザーズコーチングスクールシニア認定講師）



★★ 学習プログラム ★★

- ・「親の役割」「安心感」「失敗って？」などの質問をグループに分かれて意見交換を行う。
- ・グループワークの内容を全体で共有し、より良い親の在り方について考える。
- ・コミュニケーションチェックシートを使い信頼関係について学ぶ。
- ・事前に配布した資料でZoomの操作方法やマナーについて学び、Zoomのチャット機能などを実際に操作してみる。

【参加者の声】

コロナ禍でも講座が受けれたり、他のお母さんたちとお話が出来て良かったです。子育てのヒントを得られるいい機会でした。魔法の言葉や見守るときのポイント等を学べた。今後に活用しやすいアドバイスを受けることが出来ました。グループディスカッションがある事を事前に分かると良かった。子どもを見ながらの参加で、聞き取れないところもあったので、資料をいただけるような仕組みがあると嬉しい。

【ま と め】

改めて親の役割や、見守るとはどういうことかを考える機会になり、子どもの自己肯定感をより高める声かけのヒントを得られたことは今後の子育てに役立つと思われます。各家庭でくつろいで受講している方もいる反面、初対面で発言のしにくさを感じた方もいると思われ、Zoomでの講座の向き不向きを考慮したうえで講座の企画が必要だと感じました。また、講師の方に講座に集中していただけるよう技術の習得に務め、補助が行えるようにしたいと思います。



4 その他の事業

〔1〕 プラネタリウム事業

久茂地公民館の前身である沖縄少年会館から引き継いだプラネタリウムは、45年間もの間、青少年に科学の夢を与え続けてきた。しかし建物の老朽化により牧志駅前ほしぞら公民館に機能移転し、プラネタリウムも最新型のハイブリッド式へと生まれ変わった。

新機種の導入により、地球上での星空だけでなく、地球を飛び出し宇宙空間を移動することも可能で、過去や未来の星空など、時間軸の移動も容易となった。また、各地の風景を投影するなど、より臨場感あふれる演出となり、幼児から大人までを対象に、宇宙への好奇心を育んでもらう役割を引き継いでいる。

平成25年度より、一括交付金を活用して製作したオリジナル番組を投影している。

- 【観覧料】 (一般料金) 大人200円、高校生150円、小中学生100円
(団体料金) 大人150円、高校生120円、小中学生 80円
※那覇市内小中学生無料、未就学児全般無料、那覇市内65歳以上は100円
- 【所要時間】 約45分～50分(幼児番組は約40分)(学習投影は内容により1時間30分まで可能)
- 【定員】 1回の投影で84名まで。
- 【休演日】 月・火曜日、祝祭日・年末年始・慰霊の日(6/23)・機械点検日、番組調整・講座等使用日
- 【受付】 ≪一般投影≫ 観覧当日、投影1時間前に観覧料を購入
≪団体投影≫ 10名以上の団体で、観覧一週間以上前に申請し許可を受ける。
市内所在団体は4月から、市外所在団体は5月から受付開始。

【プラネタリウム投影の内容】 ※①～⑥と、10分～25分程季節の星空解説を合わせて行う。

- ①幼児対象番組 「月にはだれがすんでいるの?」「かめっちとぺんた」
「おーい!アカナー!夜空を見上げよう」
- ②高学年対象番組 「宇宙船さいおん号で出発」「GO!メガシーサー!宇宙への夢、無限大」
「宇宙と島の大冒険 GO!メガシーサー!」
- ③一般向け対象番組 「美ら島・星の旅」「月と星・島々の歳時記」「チムグクルをとりもどせ!」
「みんな生きている。宇宙・星・島々…」
- ④うちなーぐち番組 「美ら島・星の旅」「残したい言葉・伝えたい思い」
- ⑤小・中・高校生対象の学習投影 「学習番組」「時空を超えて～夜空の見方を大転換～(夏)、(冬)」
- ⑥宇宙の最新情報、天文現象の解説

☆通常期(繁忙期以外)

	10:00	14:00	18:30		13:30	15:00	16:30
水	団体	団体		土	一般	一般	一般
木	団体	団体		日	一般	一般	
金	団体	団体	一般				

☆繁忙期(7月、那覇市立小学校の夏・秋・冬・春休みの期間)

	10:00	11:00	14:00	15:30	18:30
水	団体	団体	団体	一般	
木	団体	団体	団体	一般	
金	団体	団体	団体	一般	一般

	11:00	13:30	15:00	16:30
土	団体	一般	一般	一般
日		一般	一般	



〔２〕プラネタリウムにおける新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み

１ 「三つの密」を避けるための対策

- (１) １日の投影回数を減らし、興行場法に基づいた空調設備を稼働させ、投影と投影の間には扉を開け外気を取り入れての適切な換気を実施
- (２) 人と人の距離を１～２ｍ程度開けて座る場所を指定
そのため、団体投影は４２人、一般投影は２２人程度に制限
- (３) 多数の方が密集することがないように団体投影は１投影につき１団体、一般投影は事前予約制

２ 利用者の安全確保について

- (１) 入館前の健康チェックの実施
- (２) 利用前後の手指消毒
- (３) マスクの着用
- (４) 並ぶ際の前後２ｍの間隔の確保
- (５) ドーム内での会話を控える
- (６) 座席、手すり、肘掛けなど直接触れる機会の多い箇所の定期的な除菌・消毒の実施
- (７) スタッフ全員のマスク着用および勤務前の検温と手指消毒の徹底

３ 投影スケジュールの変更について

以下のスケジュールで投影を実施

	１０：００	１４：００	１８：３０
水	団体	団体	
木	団体	団体	
金	団体	団体	中止

	１３：３０	１５：００	１６：３０
土	一般	中止	中止
日	一般	中止	

※１投影に対し、団体は１団体のみ４２人程度、一般は２２人程度の制限あり

※一般投影をご覧いただくには事前の予約が必要

４ 投影中止期間

(１) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う中止期間

- ① 令和２年４月１日から５月３１日まで（一般投影は７月１７日まで中止）
- ② 令和２年８月１日から年９月１３日まで

(２) メンテナンスに伴う中止期間

- ① 令和２年６月２７日から７月２日まで（定期メンテナンス）
- ② 令和２年１１月９日から１１月１２日まで（シートクリーニング）
- ③ 令和２年１１月２９日から１２月２日まで（定期メンテナンス）
- ④ 令和３年３月８日から３月１０日、令和３年３月２２日から３月２４日まで（機器修繕）



さいおんスクエア

部分日食 Live配信観望会

趣 旨：月が太陽の一部分を隠す部分日食を見て天体に興味を持ってもらう。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、Zoom と YouTube を使って Live 配信を行い、会場に足を運ばなくても、どなたでも部分日食を楽しめる機会とする。

配 信 日：令和2年6月21日（日）

配信時間：16：30～17：30

場 所：YouTube 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館・操作技師チャンネル

対 象：天体に興味のある方で動画視聴可能な方

受 講 料：無料

視聴回数：3, 143回

解 説 者：福里 美奈子（プラネタリウム操作技師）

玉城 奈々（プラネタリウム操作技師）

那 覇	
食の始め	15時59分
食の最大	17時16分
食の終わり	18時23分



動画サイト (YouTube)

<https://youtu.be/3AQClBfIF9k>



【まとめ】

6月21日の夕方、日本全国で部分日食が観察できる日で、天文ファンのみならず子供から大人まで楽しめる天体ショーがあった。特に沖縄は日本の中でも最も欠けた部分日食が見えるという好条件。通常なら、ほしぞら公民館のベランダで観望会を開き、たくさんの観望会参加者と一緒に日食を見る予定だったが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、ベランダが参加者で密にならないように Zoom と YouTube を使って Live 配信を行った。

Live 配信は1時間という長丁場だったので、視聴者を飽きさせないようにパワーポイントを使って公民館や日食の紹介、画面数を増やし日食の様子を見ながら、周りの様子を見えるように工夫した。視聴者に見せる日食の様子は、望遠鏡から太陽投影板に太陽を映した。午前中は、厚い雲が広がって天候は良くなかったもの、夕方の日食本番には薄い雲に変わり、見ごたえのある部分日食を見ることができた。ベランダにも日食を見に子供たちが数名集まったが、ソーシャルディスタンスを取りながら日食を観察していた。その様子をテレビ局が撮影してくれて、夜のニュースで取り上げてくれた。また翌日全国放送でも放送された。自分たちが主体での Live 配信は初めてだったので色々トラブルもあったが、うまくまとめることができたと思う。(動画は YouTube でご覧になれます。)



ほしぞら動画配信 たなばたの話

趣 旨：毎年多くの人が星空を見上げる七夕の時期に、星空や宇宙に興味を持ちプラネタリウムに親しむ機会とする。

配 信 日：令和2年7月3日（金）

再生時間：11分10秒

場 所：Y o u T u b e 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館・操作技師チャンネル

対 象：一般（星空に興味のある方で動画視聴可能な方）

受 講 料：無料

視聴回数：913回

解 説 者：福里 美奈子（プラネタリウム操作技師）

玉城 奈々（プラネタリウム操作技師）



動画サイト（YouTube）

<https://youtu.be/9itNL2UvQN8>



★★ 学習プログラム ★★

学 習 内 容
前半「織姫と彦星の探し方」
後半「多良間島に伝わるたなばたの話」

【まとめ】

毎年、たなばたが近い週末に「たなばた無料投影」を二日間開催し、土曜日の夜にはさいおんスクエアで七夕天体観望会を行っていた。無料投影はほとんどの回が満席を超え追加投影を行うほど賑わい、天体観望会も300人程の人が集まっていたが、今年は残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大防止の為に中止とした。その代替として、今年はプラネタリウムの中での星空解説とイラストを使って民話をお話する動画を作成した。プラネタリウムの撮影は、田端氏（前ほしぞら公民館長）に依頼し、高感度のカメラで撮影した星空はとても綺麗で、星空の美しさを伝えることができた。

今回はイラストと挿入曲を自作し、できるだけ既成品を使わず手作りを意識して作成した。まだまだ未熟な部分は多いが、コロナ禍で投影ができない中、初めての事に挑戦する事ができ、新しい知識と技術を習得する事ができた。今後の投影でこれらを活かしていきたい。



ほしぞら動画配信 うちなーぬ星

趣 旨：新型コロナウイルス感染拡大防止による休館中に、YouTubeを使用して多くの人々にプラネタリウムを楽しんでもらう企画として制作した。沖縄から見える星空を沖縄の言葉で解説し沖縄の文化を感じてもらうとともに、プラネタリウムに親しむきっかけとする。

配 信 日：令和2年6月10日（土）

再生時間：5分44秒

場 所：Y o u T u b e 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム・操作技師チャンネル

対 象：一般（動画視聴可能な方）

受 講 料：無料

解 説：福里 美奈子（プラネタリウム操作技師）

視聴回数：744回

★★ 学習プログラム ★★

プラネタリウム映像に合わせて挨拶から始まり、星の呼び名・歌詞の中に出てくる星の解説などをすべてうちなーぐちで行う。この季節に合わせて夏の星空を投影した。

【まとめ】

うちなーぐちで解説をすることは、目標の一つとして以前から掲げていたものであった。沖縄には沖縄ならではの星の呼び名や民話、歌などがあり、暦や時計が無い時代には月や星の位置を知ることによって季節を知るなど生活との関わりが深かった。それをうちなーぐちで解説することは沖縄の星文化の継承へと繋がるのではないかと考えた。

今回は、うちなーぐち研究家の國吉眞正さんに指導していただき完成することができた。すべてをうちなーぐちで解説することは想像以上に難しくまだまだ納得のいくものではないが、今後も継続して行いたい。



動画サイト（YouTube）

<https://youtu.be/-XdLNV1FLXU>



ほしぞら動画配信 十五夜～中秋の名月～

趣 旨： どうして秋にお月見をするのか、中秋の名月と呼ばれているのか、沖縄でのお月見の仕方を紹介し、日本や沖縄に伝わる月や星の風習について学ぶ機会とする。

配 信 日： 令和2年9月20日（日）

再生時間： 5分55秒

場 所： Y o u T u b e 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館・操作技師チャンネル

対 象： 一般（星空に興味のある方で動画視聴可能な方）

受 講 料： 無料

視聴回数： 751回

解 説 者： 玉城 奈々（プラネタリウム操作技師）

★★ 学習プログラム ★★

- ・ 秋にお月見をする理由
- ・ 中秋の名月と呼ばれる理由
- ・ お月見の始まり
- ・ 沖縄でのお月見
- ・ 月の表面の模様について



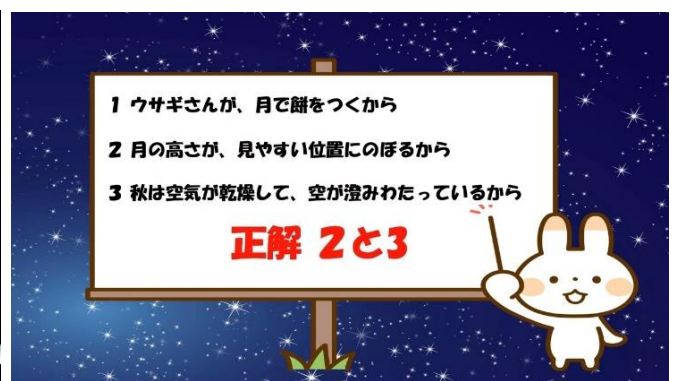
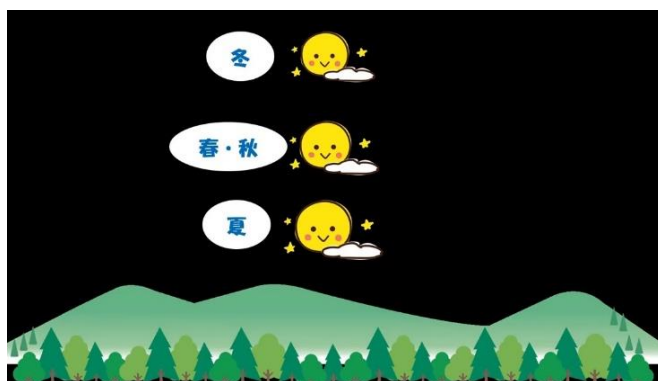
動画サイト（YouTube）

<https://youtu.be/bivjgh3A19w>



【まとめ】

どうして秋にお月見をするのか、中秋の名月と呼ばれているのか、沖縄でのお月見の仕方を動画で紹介した。クイズ形式で問題を出題したり、イラストをたくさん使って子供でも分かりやすく楽しめるように工夫した。イラストはできるだけ手書きで描いたので、親しみやすい動画になったと思う。引き続き、星や月の地域による見方や風習などを季節毎に配信して星空に興味を持ってもらい、たくさんの方にプラネタリウムに足を運んでもらいたい。



オンライン星空教室

趣 旨：毎年行われている講座である「親子星空教室」が新型コロナウイルスの感染拡大防止のために開催できなかったため代替の企画として行った。このような状況だからこそ、星空に関する基本的な知識を習得して、屋外で行える星空観察を楽しんでもらいたい。また、視聴に制限をしないことで那覇市内外の多くの人々に当館プラネタリウムを知ってもらおう機会とする。

配信期間：令和2年10月4日（日）～令和3年2月7日（日）全5回

場 所：YouTube配信 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム・操作技師チャンネル

対 象：一般（動画視聴可能な方）

受 講 料：無料

視聴回数：2,915回（3月31日現在）

講 師：田端 研二（前牧志駅前ほしぞら公民館長）

福里 美奈子（プラネタリウム操作技師）

玉城 奈々（プラネタリウム操作技師）



動画サイト（YouTube）

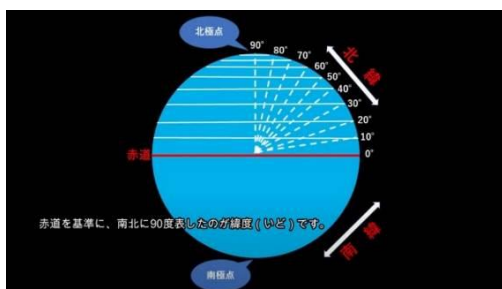
★★ 学習プログラム ★★

https://youtube.com/playlist?list=PLK1_9hgnDNcN5ncPh9dB2_4f3O4KT2h06

	実施日	再生時間	学習内容	視聴回数
1回目	10月4日(日)	22分30秒	プラネタリウム秋の星座、宇宙の広がり	1,601回
2回目	11月1日(日)	21分13秒	望遠鏡で星空を観察する方法	439回
3回目	12月6日(日)	19分08秒	楽しい工作（星座早見盤）	351回
4回目	1月10日(日)	19分15秒	2021年おすすめ天文現象 プラネタリウム冬の星座	351回
5回目	2月7日(日)	20分23秒	星座の話（南天と北天の星空）	173回

【まとめ】

いつでも誰でも何度でもインターネット環境があれば見られる企画とした。動画を繰り返し見ることで星空の基礎知識や観察方法、望遠鏡の組み立て、星座観察のための星座早見盤制作と使いかたなどをしっかりと習得することができる。継続して配信をしているために時間が経過しても視聴回数が少しずつ増えて多くの人に楽しんでもらうことができたと思う。新型コロナウイルスが収束しても、毎年行われている人数限定の親子星空教室と合わせて今後も星空に関する配信を行いたい。



5 公民館まつりについて

那覇市牧志駅前ほしぞら公民館連絡協議会において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年2月に開催している公民館まつりの開催についてのアンケートを実施し、その結果を受けて公民館まつりを次年度に延期することが決定されました。また、当該まつりに代わる成果発表の場、PR活動として、発表の様子を撮影し、作品は写真に収めて一本の動画に編集したものを入り口に設置した大型モニターで上映しました。

はじめての試みでしたが参加された団体の皆様のご協力で何とか形にすることができ、当施設を利用する方はもちろんのこと、図書館や他店舗の利用者にも知っていただく良い機会となりました。



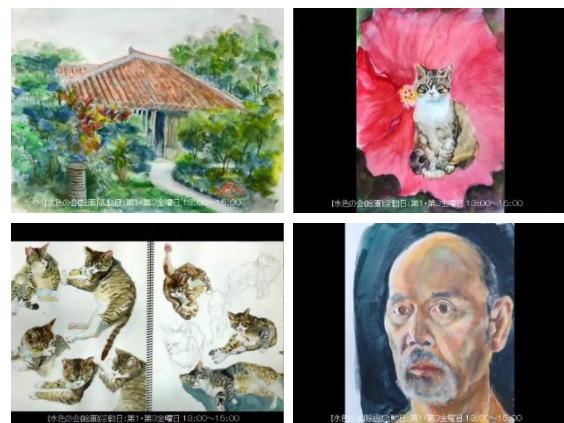
団体名：ばらの会



団体名：草月クラブ（生け花）



団体名：サックス同好会



団体名：水色の会（絵画）



団体名：響き琴の会（大正琴）



《公民館入り口にモニターを設置し公開》

6 新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み中止になった事業

事業名及び講座名	開催予定月	定員（人）	時間×回数
市民講座「免疫力を上げて コロナに負けない体力づくり！」	R3年1月	20	2時間×1回
成人講座「星空案内人」	R2年9月～12月	16	2時間×7回
高齢者学級「シニアのための スマホ体験講座」	R2年10月20・21日	18	3時間×2回
高齢者学級 「カラー講座再発見！ 今の自分に似合う色は・・・」	—	10	2時間×1回
高齢者学級「じいじと ばあばの乳幼児講座」	R2年12月	10	2時間×1回
少年教室 「夏休み絵画（お絵かき）教室」	R2年8月3・5日	20人×2回	2時間×2回
親子ふれあい教室 「親子星空教室」	R2年9月～R3年2月	親子20組（40名）	2時間×6回
プラネタリウム事業 「星空観望会」	R2年4月～R3年3月	なし	2時間×15回
プラネタリウム事業 「星と音楽のコラボ（夏）」	R2年6月	65	50分×2回
プラネタリウム事業 「たなばた無料投影」	R2年7月	80	40分×7回
プラネタリウム事業 「熟睡プラネタリウム」	R2年11月	80	45分×3回
プラネタリウム事業 「星と音楽のコラボ（冬）」	R2年12月	65	50分×2回
ほしぞら公民館まつり	R3年2月	なし	—

【牧志駅前ほしぞら公民館・館長より】

新型コロナウイルスの影響で、年度当初計画していた公民館講座が中止や延期となる中、コロナ禍の中だからこそその講座を企画し、知識も経験もない中でオンライン化に向けて模索し続けた一年となりました。

残念ながらコロナの影響はまだまだ続きそうですが、3密を避けながら感染対策を行うことで対面式での講座を再開しつつ、このような時期だからこそ、公民館で楽しく学べる機会を提供できるよう、試行錯誤を繰り返しながら、もっと進化したスタイルでの講座やイベントの開催に向けて、引き続き職員一丸となって取り組んで参ります。